

言語発達支援の実践 ～ことばと発音～

こども言語相談室cotocoto
言語聴覚士西野章子

自己紹介



- 西野章子 言語聴覚士（国家資格）
- 総合病院にて**20年間**小児から成人の言語訓練・嚥下訓練を実施
- 行政委託として健診・発達相談等に従事
- 長崎大学子どもの心の支援に関わる高度人材育成プログラム講師
- 長崎リハビリテーション学院非常勤講師
- 放課後等デイ・こども園 スーパーバイザー
- **2021年** こども言語相談室**cotocoto**開業
- 専門は小児の言語発達全般・構音指導・摂食指導・吃音・学習支援

こども言語相談室cotocoto

子どもたちが自分の力を
のびのびと出し切って
人生を味わい尽くすために



子と言葉を
つなぐ

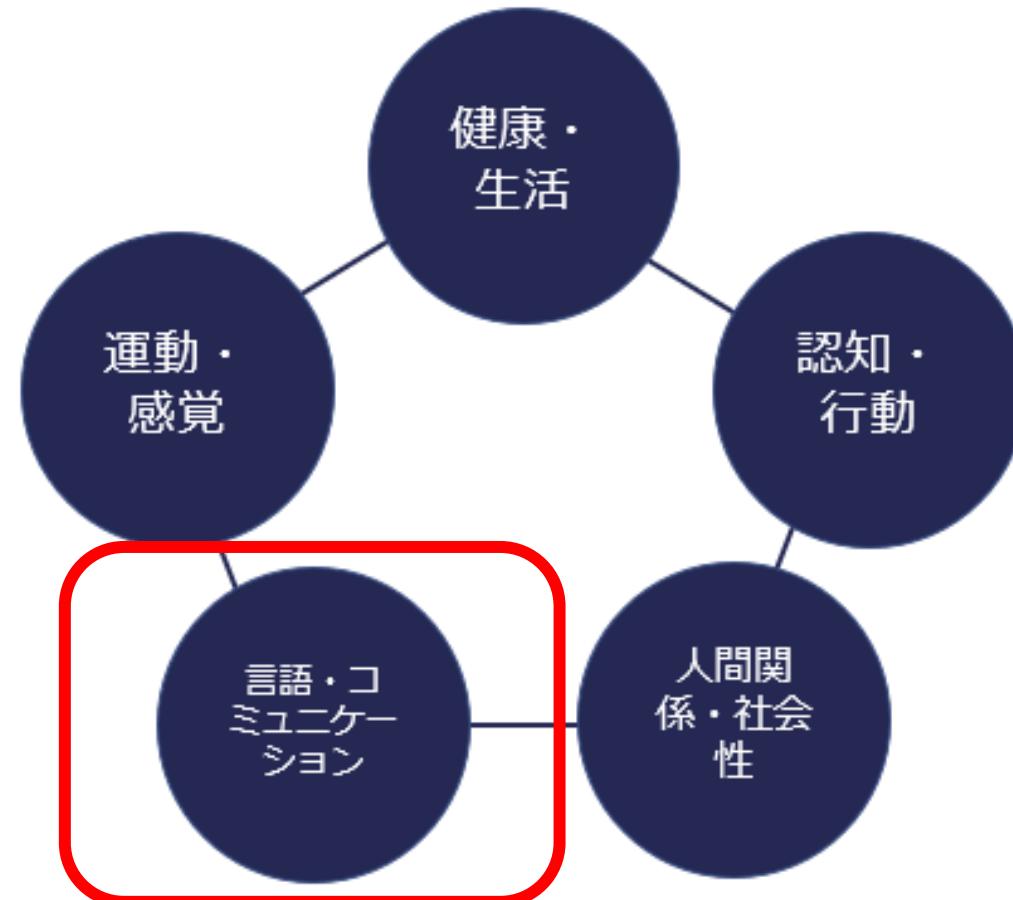
特性を
味わいに
変える

子どもと
その家族の
ストーリーを
応援する

【本人支援】の5領域

目標

子どもが将来日常生活や社会生活を円滑に営めるようにする



5領域はお互いに関連しており、重なる部分もある

言語の「課題」どうやって見つけたら？





こんなとき なんて いう？



**人間本来の鼻呼吸で免疫力アップ
あいうべ体操カード**

口と鼻は病気の入口

あ	口を大きく「あ～い～う～べ～」と動かします
	●できるだけ大きめに、声は少しOK！
い	●1セット4秒前後のゆっくりとした動作で！
う	●一日30セット(3分間)を目標にスタート！
べ	●あごに痛みのある場合は、「い～う～」でもOK！

お風呂で、トイレで、通勤途中に、親子で、いつでもどこでも思い出したらやってください

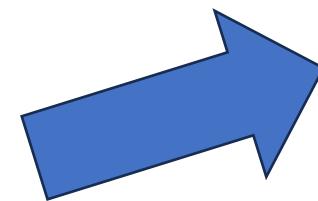


やってはみたが、どう評価する？

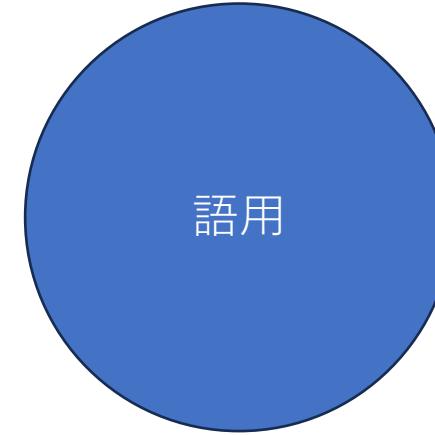
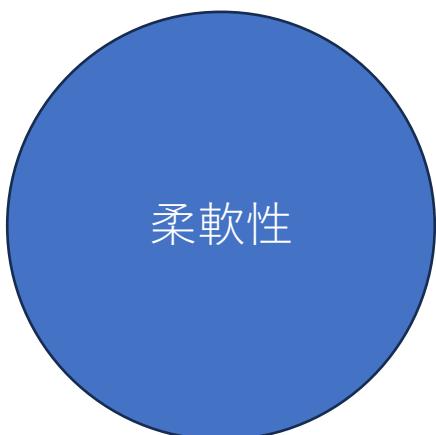
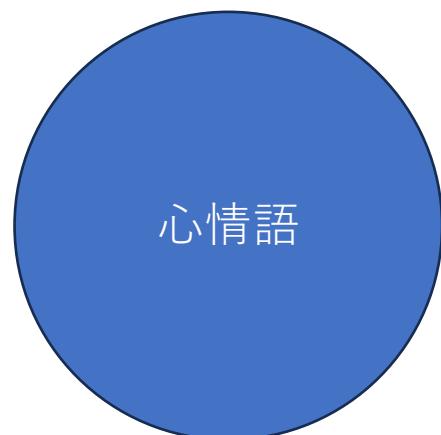
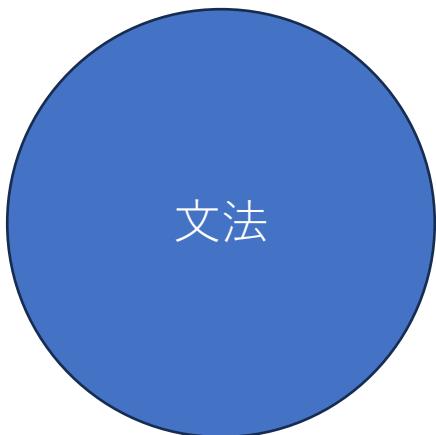


幼児期から学齢期へ

- ・学齢期は様々な言葉の力が求められる
- ・例)
- ・教師の教示通りに行動する
- ・口頭で説明される内容を理解する
- ・物語を聞いて楽しむ
- ・文字を介した学習



土台となるのは



人と関わる

目の前のこと・身近なこと
「すごいね」
「おねえちゃん今頃何して
るかな？」



興味のある内容で仲間意識を強める
「k ポップアイドルの○が△と♡な
んだよ！」「○日にアップされる△、
予約は○日までだって」

1.語彙知識に困難がある児童

- 自分から話したがらない
- 短い文で内容の乏しい発話
- 言葉が出るまで時間がかかる
- 簡単な言葉で表現したり代わりの表現を使う
- 「いつも・昨日・毎日」など時間に関する言葉の使い方が苦手
- ことばの意味の境界線が曖昧（手・腕・指の違いなど）
- 話しのあらすじや文章の要点を読み取るのが難しい

2. 慣用句・心的語彙に困難がある児童

□ 慣用句表現の意味を誤って理解してしまう

例) 目と鼻の先⇒顔の近く

□ 慣用句が含まれる文章の大まかな意味を理解することが難しい

□ 物語の登場人物の心情を表す文章を理解しにくい

□ 自分の気持ちを言葉で表現できず感情だけが高ぶってしまう

3.聞き取りによる文脈の理解が困難な児童の特徴

- 筋の通った分かりやすい話になりにくい
- 説明されたことがよく理解できない
- 文章を読んでも内容が把握できていないことがある

4.文表現に困難がある児童の特徴

- 話すときには短い文で内容の乏しい発話になる
- 話すことには意欲的だが思いついたまま話すため伝わりにくい
- 話すときや作文で助詞や動詞の語尾の誤りが見られる
(例　お母さんに読んでもらった⇒お母さんに読んだ)
- 作文を書くと肩にはまつた分になつたり文脈がつながらなかつたりする

5. 対人文脈に困難がある児童の特徴

- 聞き手の立場や状況に応じて言葉遣いを変えることが難しい
- 自分の体験は聞いても知っているはずと考えて話す
- 会話が一方的になり、相手の話に合わせたり、やり取りしたりすることが難しい

6.柔軟性に困難がある児童の特徴

- 話すことをためらいがちで話すときも短い文で内容の乏しい発話になる
- 作文で書く内容が思い浮かばない
- 関連語の想起が難しく、作文では型にはまつた文になりやすい
- 状況判断が難しく思い込みで物事を被害的に受けトラブルになりやすい

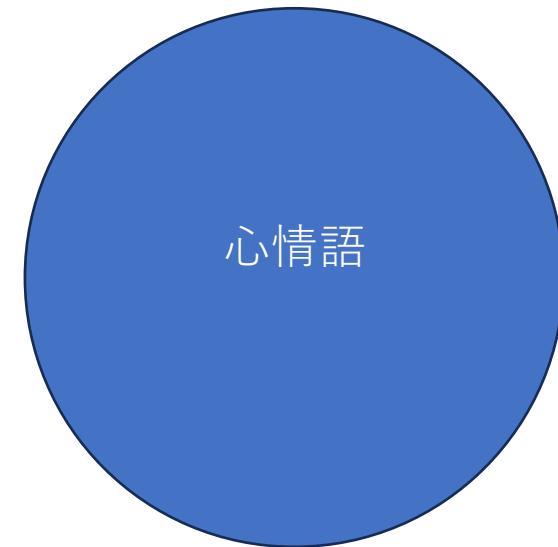
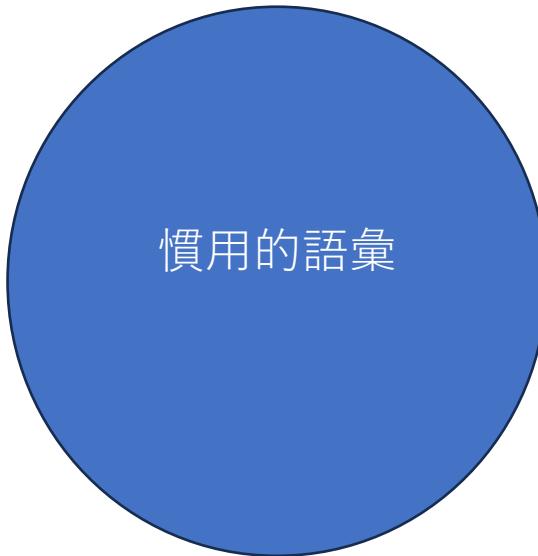
アプローチ

- ・ゲームやクイズなどを通して聞く態度を育てる
- ・活動の流れの中で指示を聞いて行動する
- ・聞くときの態度について学ぶ
- ・子どもへの語り掛けを調整する
- ・様々な手立てで聞き取る力を高める
- ・語彙知識や読解力の向上交えて聞き取る力を高める

アプローチ

- ・会話のやりとりを通して表現する力を高める
- ・説明する力を高める
- ・文法的に正しい形で表現する
- ・語り（ナラティブ）の力を高める
- ・相手の立場や観点に配慮して話す
- ・話題からそれないようにしながら相手と交替で話す
- ・語想起の柔軟性を高める
- ・状況理解力を高める

今回は



語彙獲得へのアプローチ

- ・メタ言語的アプローチ
- ・誤りや言いよどみを捉えて語を教える
- ・語彙を選択して直接アプローチする
- ・知らない言葉を視覚化する
- ・ことばを学ぶ方法を学ぶ
- ・語想起の柔軟性を高める

プログラム

- なぞなぞ

例) 部屋にあって四角くてニュースなどを見るもの

- 仲間集め

例) 「ほうき・ちりとり、似ているところは?違うところは?」

- お役立ちクイズ（モノの機能について語ってもらう）

例) 「傘」雨が降っても濡れないで済む

- 宝探し

例) 指導者が言語的な指示を出し地図上で道をたどる、また、子どもに指示を出させる

語の種類（場所・時間）

語の種類	例
場所を表す語	右・左 東西南北 おもて・うら かど 正面 ～と～の間 ～の上・下 ～のななめ右上・左下
時間を表す語	あした あさって きのう おととい 今週来週先週 明日・きのうは何曜日？ 今日の二日後・前は何日？ あさって・おととい何日？ 来週・先週の木曜日は何日？

動きを表す語

- 動作を表す語彙を十分に持っていない場合、擬音語や擬態語で表現しがち

例「どんっでした」「ぎゅっでした」「ふーっでした」

- 関連する語の意味の違いや似ているところを話し合い、例文を作ってみたりしながら聞いて理解できるだけでなく実際に使える語彙に高めていく

動きを表す語

語の種類	例
工作で行うこと	折る 貼る ねじる つまむ のばす 測る
口	たべる 飲む 噛む 吹く 口笛を吹く 吸う はさむ くわえる なめる 歌う しゃべる さけぶ ささやく つぶやく
足	歩く 走る 跳ぶ スキップする ケンケンする ける 開く 閉じる 踏む のぼる おりる つまずく よろける
目	見る ひらく とじる つむる ウインクする にらむ ほそめる まわす 横目で見る 涙を流す
手	開く 閉じる にぎる じゃんけんする さわる つかむ はなす 押す ひく たたく つつく ねじる ひねる ゆびさす
座布団	すわる あぐらをかく 正座する まくらにする 丸める 干す

知らない言葉を視覚化する

- 知らなかつた言葉をカードに書きだす
「『よく年』とこのカードの表に書いておきましょう。カードの裏に『よく年』の意味や意味が似ている言葉も書きましょう」
- 作った語彙カードを用いて振り返りを行う
(カードの裏を見ながら) 「この意味の言葉は何だったでしょうか?」

慣用句アプローチ

■穴埋め課題で慣用的な表現を学ぶ

『耳を〇〇』の中に文字を入れると「相手の話を聞く」という意味の言葉になります。何が入るでしょうか？（貸す）

■意味のヒントから慣用句を想起する

「人に褒められるようなことをした時の気持ちを『鼻』を使って言うとどうなりますか？」（高い）

共同注意と言語発達

共同注意はことばの獲得に重要！

同じ方を見ることができると言葉の獲得につながる



© Fumio Nabata

⇒0歳代後半、親の顔と視線の方向を頼りにモノを見ることができる

⇒他者の視線の方向への追従が見られる子どもほど後の理解語彙や表出語彙が豊か

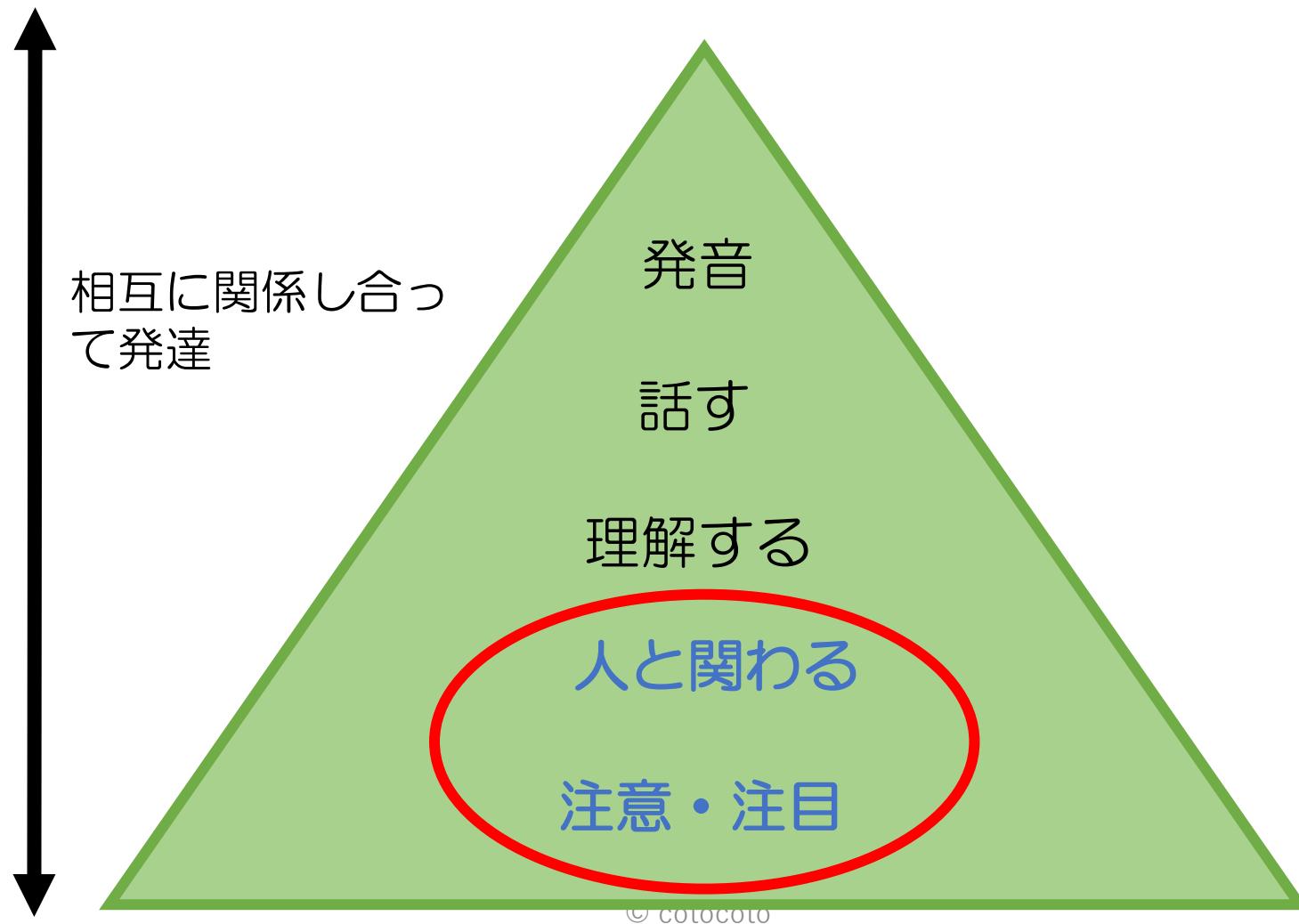
「聞こえる」と「見える」の連合

聞こえてきた言葉（音）と、見えたものが繋がることで言葉のモデルを学ぶ

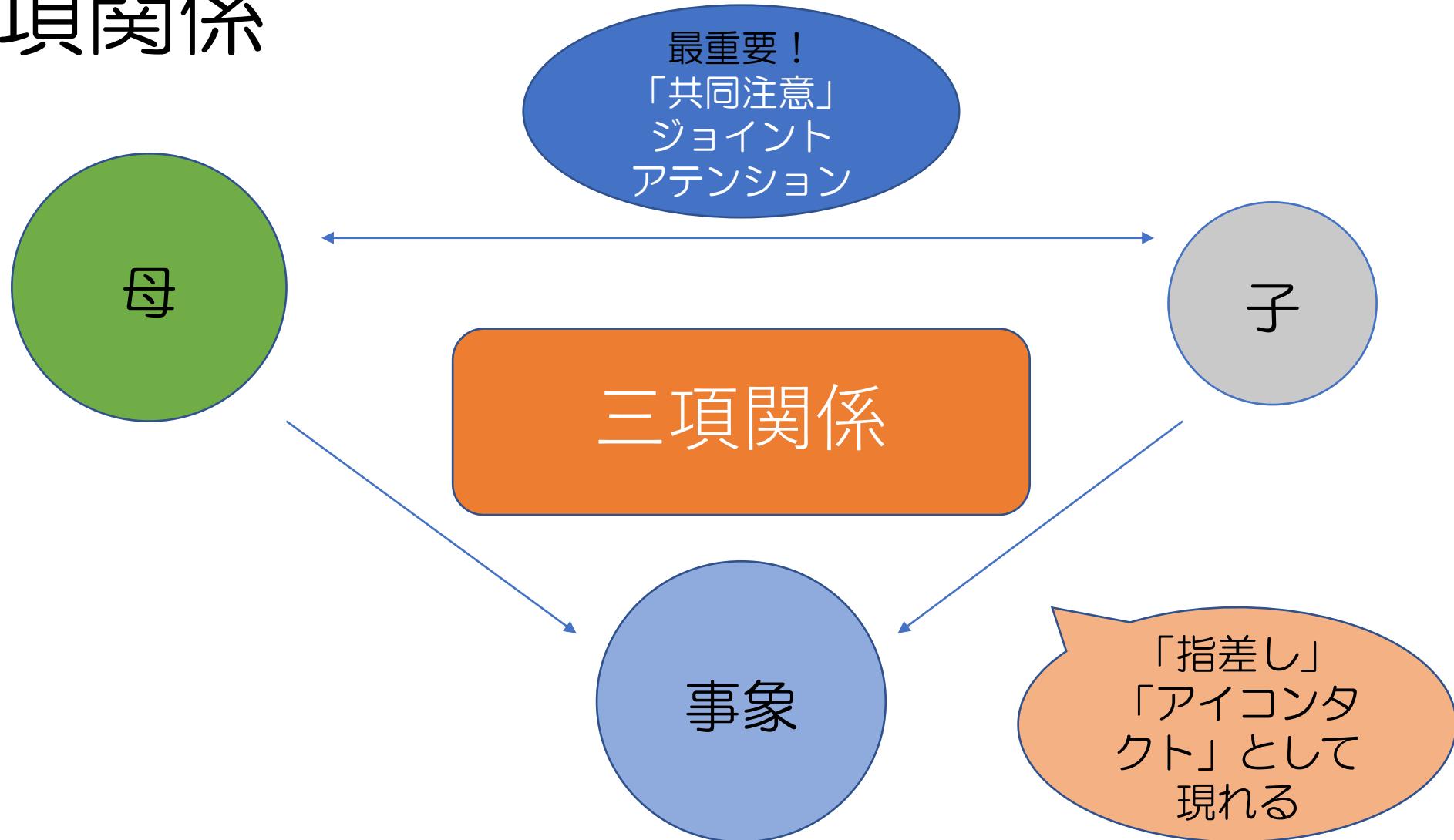
⇒どのような場面や意図でどのような発話を用いたらいいかを学ぶ
(空気の読み方などにも関わってくる)

- ・慣用句などの理解にも通じる
- ・例) 年齢のサバを読む 目と鼻の先

言語獲得のピラミッド



三項関係



心的語彙アプローチ

- 特定の心の状態が喚起されるような場面における気持ちについて話し合う

「明日は楽しみにしていた遠足です。でも雨が降り出してしました。そんな時はどういう気持ちになりますか？」

- 特定の心的語彙に当てはまる場面を想起する

「安心する」と言う言葉はどういうときに使いますか？

学齢期に身につけたい心的語彙

語の種類	例
心の状態や感情	考える 信じる 疑う 安心する 心配する こまる あわてる おちつく うれしい かなしい くやしい はずかしい さみしい なつかしい
擬態語を含む表現	いらっしゃる そわそわする めそめそする びくびくする わくわくする ひやひやする
他者に向けた心の状態	はげます なぐさめる 尊敬する うらやましい ねたむ

プログラム

- ・ゲームを行ったり経験を語ったりしながら気持ちを言葉で表現する
例)

ハラハラするようなゲーム、勝ち負けのあるゲームで「どきどきす
る」「ざんねん」「おいしい」「うれしい」などの言葉に触れていく

- ・架空の状況に応じた気持ちを言葉で表現する
例)

友達とゲームをしていてもう少しで勝ちそうだったのに友達が帰る時
間になってしまいました。

始めてきた場所で迷子になってしまいました

発音が苦手な子どもたち

くまさん さかな たべるー
5歳

とうましゃん しゃたな たべる

つまさん さつあな たべる

くまちゃん ちゃかな
ぱべる

うまたん たあな
あえる



機能性構音障害

- ・口に形態的な問題が認められない
- ・年齢的に期待される音を誤っている

年齢	完成する構音
2歳代	パ行、バ行、マ行、ヤヨユワン、母音
3歳代	タ行、ダ行、ナ行、ガ行、チャ行
4歳代	カ行、ハ行
5歳代	サ行、ザ行、ラ行

「構音訓練」の始めどき



音韻分解能力が
獲得されてから

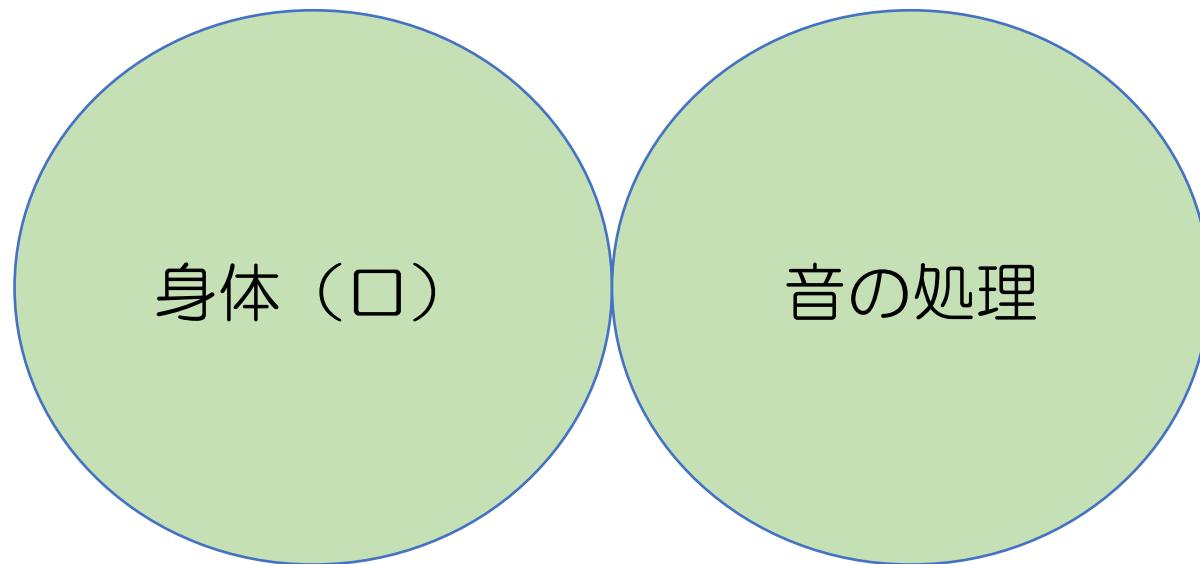


ことば遊びが
楽しめる頃
しりとり
ができる

構音訓練の開始時期

- 音韻操作ができるようになってから構音訓練を始める
「しりとり」「たぬきことば」ができるようになってから
- これらができるうちにやるといい遊び
ことば集め（あ、の付く言葉を集めよう等）
じゃんけんぐりこ（音を分解する力を身に着ける）
けんけんぱ（リズムに合わせて体を動かす）

構音障害の原因



構音障害の原因

①口（体）の問題

顎や口唇、舌、口蓋、歯列・鼻咽腔といった機能や形態が不全

②耳（聴覚情報処理）の問題

音を聞き分けたり音を聞きとどめておく能力が不全

目的となる音のモデルを作ることができない

目的の音と自身の產生した音の比較照合に問題が起こる

口の動き、育ちの順番

〈口元〉

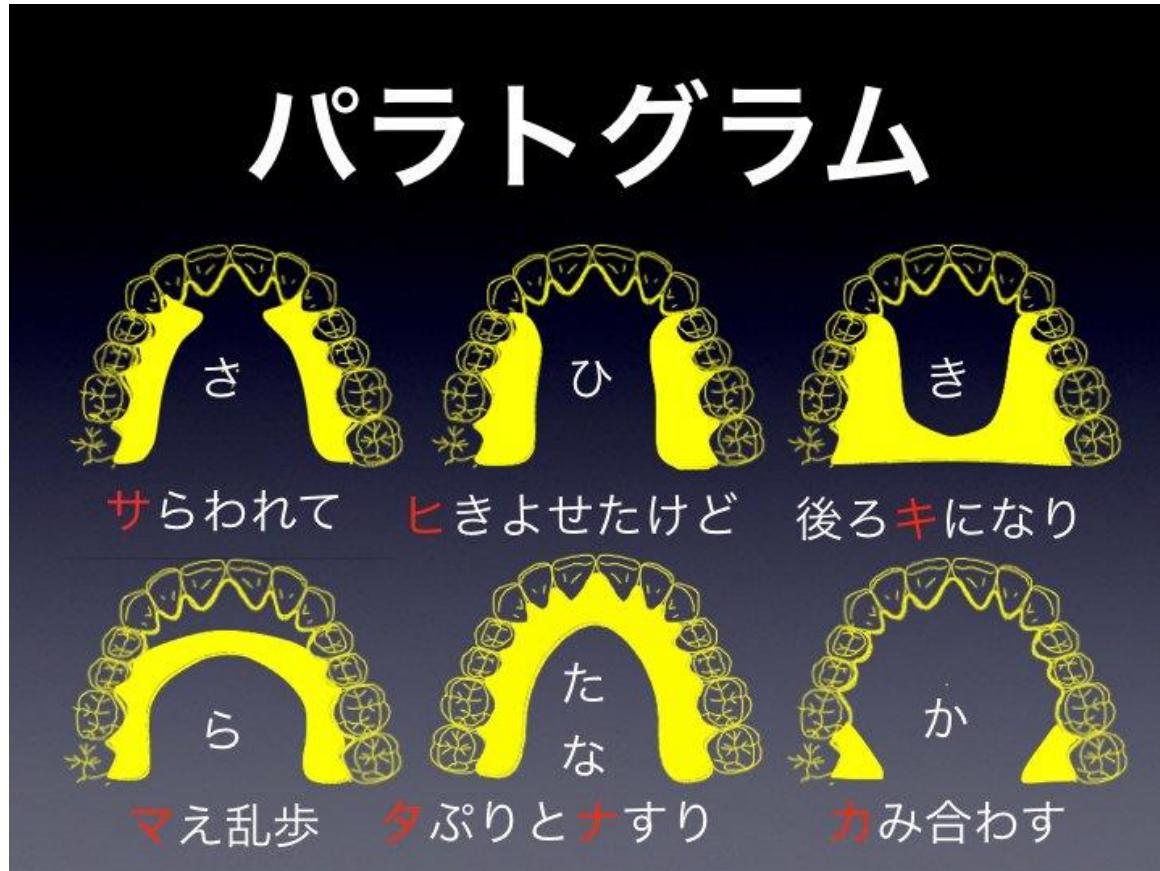
- ・両頬を膨らます 3:3
- ・唇をとがらせる 3:6
- ・両頬を左右交互に膨らます 3:9



〈舌〉

- ・舌をまっすぐ前に出す 2:2
- ・舌を出したり入れたりする 2:8
- ・舌で下唇をなめる 2:11
- ・舌を左右の口角にまげる 3:3
- ・舌を左右の口角につける 3:7
- ・舌で上唇をなめる 3:10

構音時の正しい舌運動



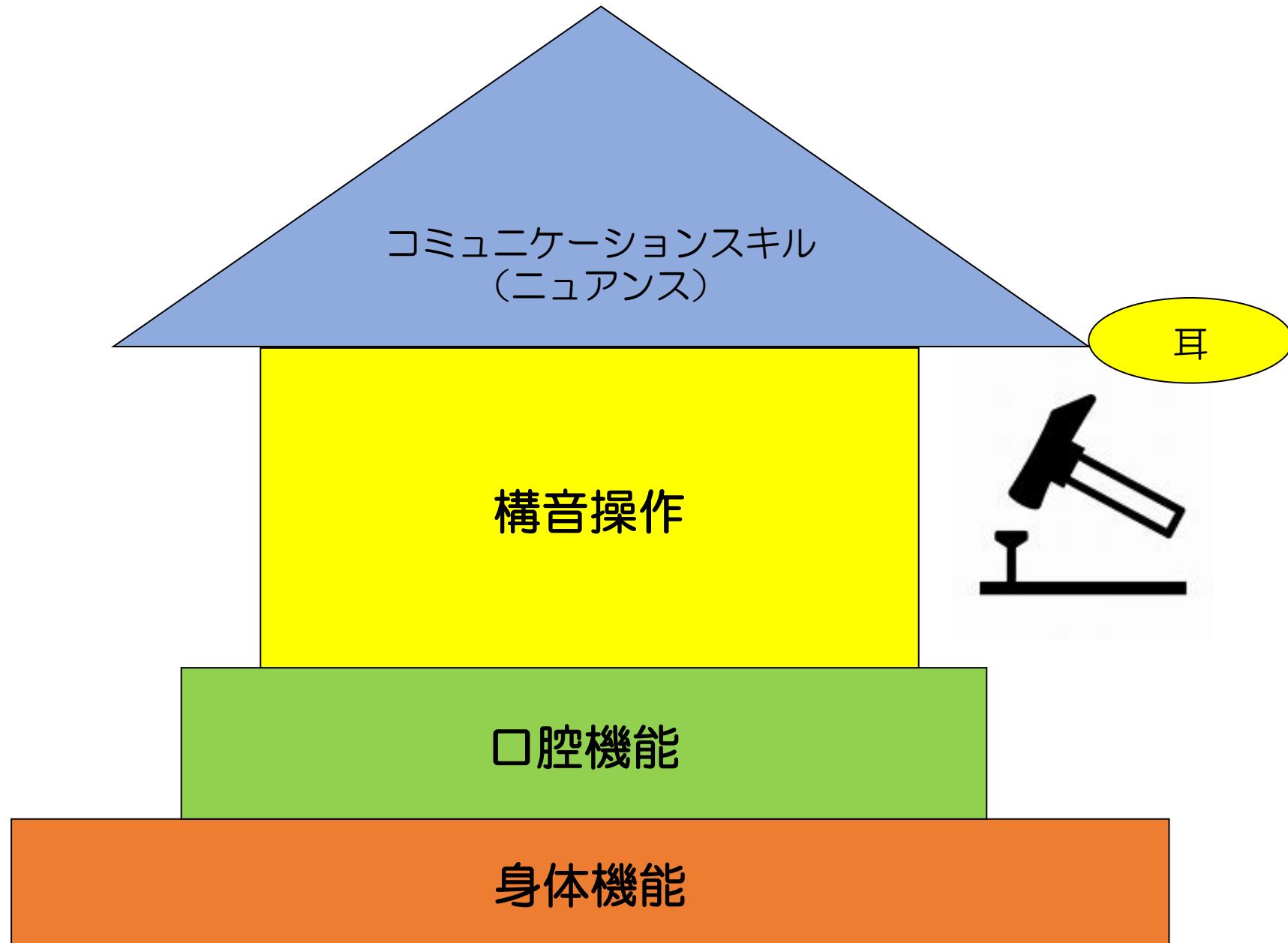
- 左右対称な動き
- 左右の舌縁部が臼歯についている
- 正中に空気の通り穴

発達の偏りと共に

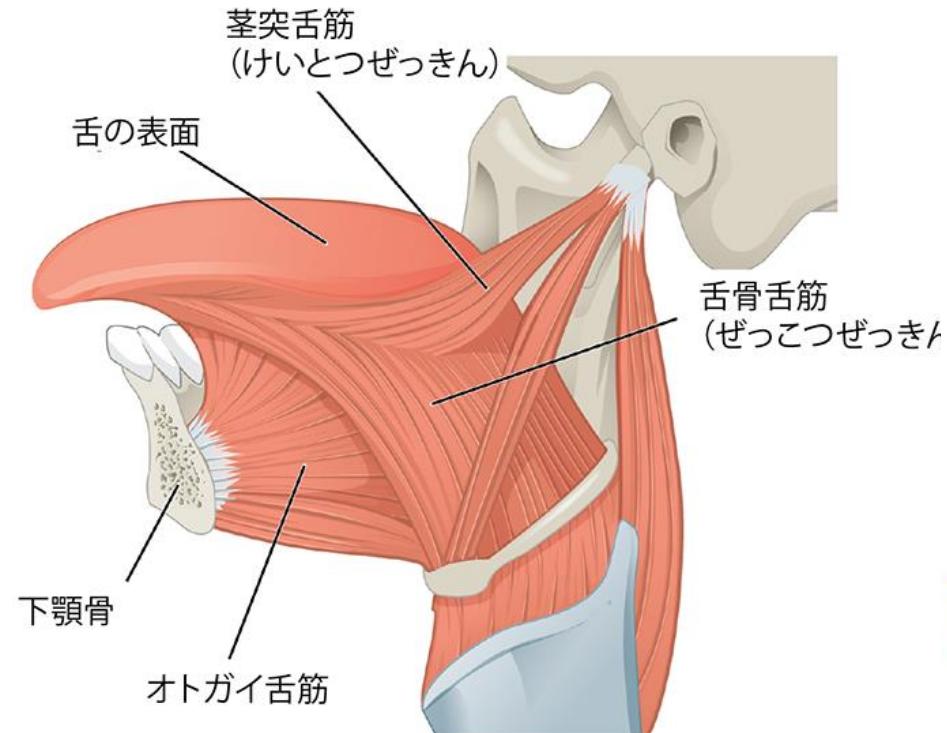
- 言語発達障害、ADHDと共に起しやすい
- 「発音だけが…」という子どもであっても言語や注意機能についてみていく必要がある

→構音操作は口腔器官の巧緻操作

→構音操作には聴覚的自己フィードバックが不可欠

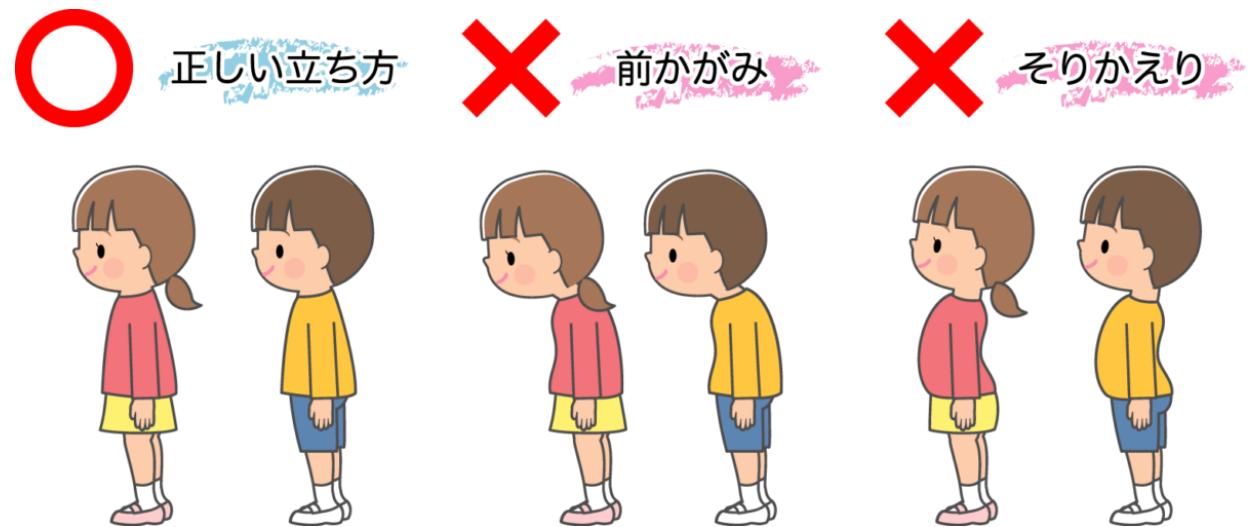


頭が前に出ると舌が後ろに引っ張られる



頭の位置がズしている

- 姿勢
⇒そり腰
⇒仙骨座り
⇒首が前に突き出す
⇒顎が上がる



K音の導き方

「んが」作戦

- ・口を開け「あー」
- ・口を開けたまま「んー」
- ・口を開けたまま「んー・あー」
- ・「んあー」を連続で
- ・「んが」になる瞬間をキャッチ！

うがい作戦

- ・うがいができるかを確認
- ・できるなら空うがい
- ・空うがいの音を「うがいの音」と命名
- ・うがいの音を5回出してみよう
- ・うがいの音を軽く出して見よう

S音の導き方

ツ～作戦

- ・「ツ」を内緒話の声で出す
- ・「ツ～～」と内緒話の声で伸ばす
- ・伸ばしている部分が、「ss…」と
いう風の音になっていることに気
付かせる
- ・そう～っというと風の音になるよと
伝える

ストロー作戦

- ・舌と歯でストローをはさむ
- ・ストローから呼気を出す
- ・ストローを少しずつ抜いていく
- ・舌を少しずつ中に入れしていく



廿行→八行

開口時



口唇閉鎖



母音・口唇音は構音しやすい

- ・スーパー
- ・スープ
- ・スマホ
- ・スプーン
- ・ばす
- ・あす
- ・おす
- ・めす等

側音化構音

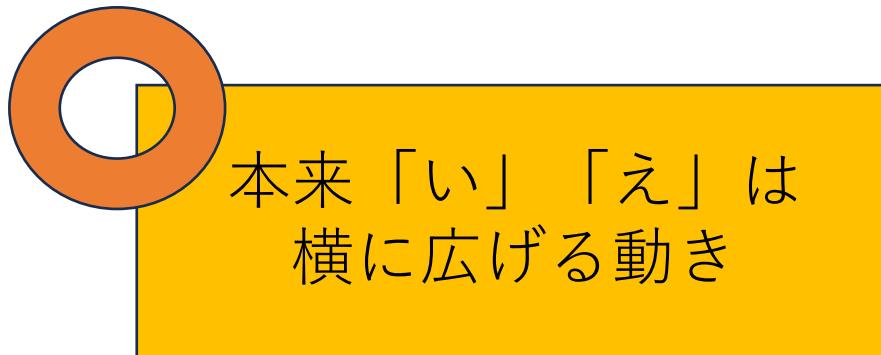
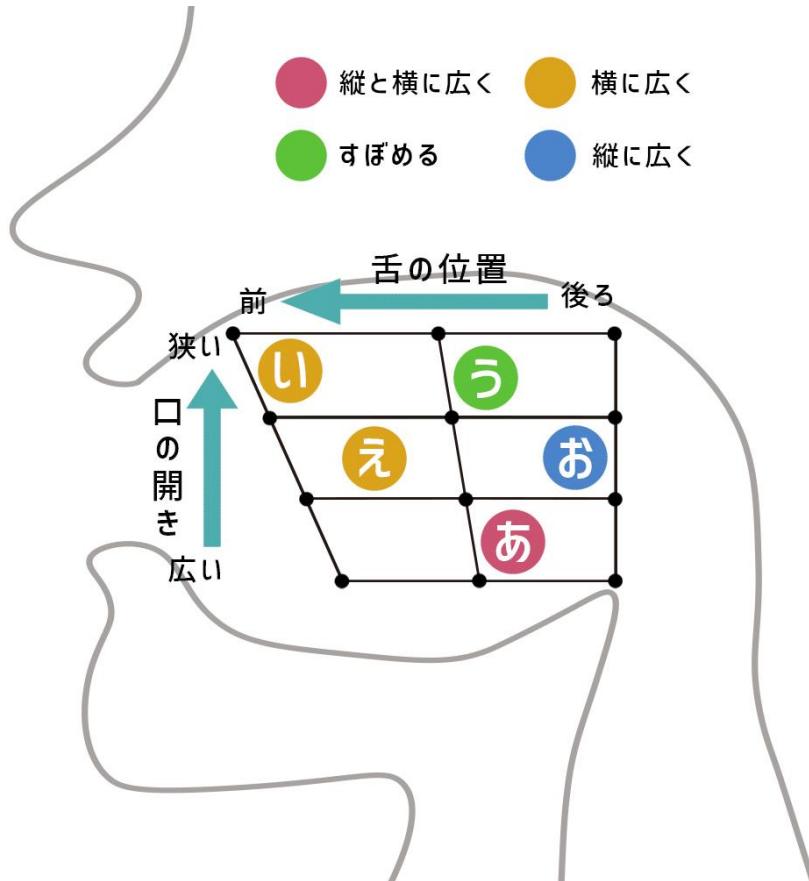
〈定義〉

舌が硬口蓋の全面に接触した状態で
舌縁部と臼歯部で音が作られる歪み音

〈なりやすい音〉

- ・母音（イ）
- ・イ列音：キギヒヂジシニピミビ
- ・サ行・ザ行・ケ・キ

側音化構音、そのとき舌は・・



側音化の問題点

- ・舌の盛り上り
- ・舌の筋緊張のアンバランスさ



余計なところに
力が入っている

側音化の目標



- 舌の盛り上り
- 舌の筋緊張のアンバランスさ



ほどよく
力を抜けるよう
になる！

異常構音の訓練は

柔らかい舌
まっすぐ動く舌

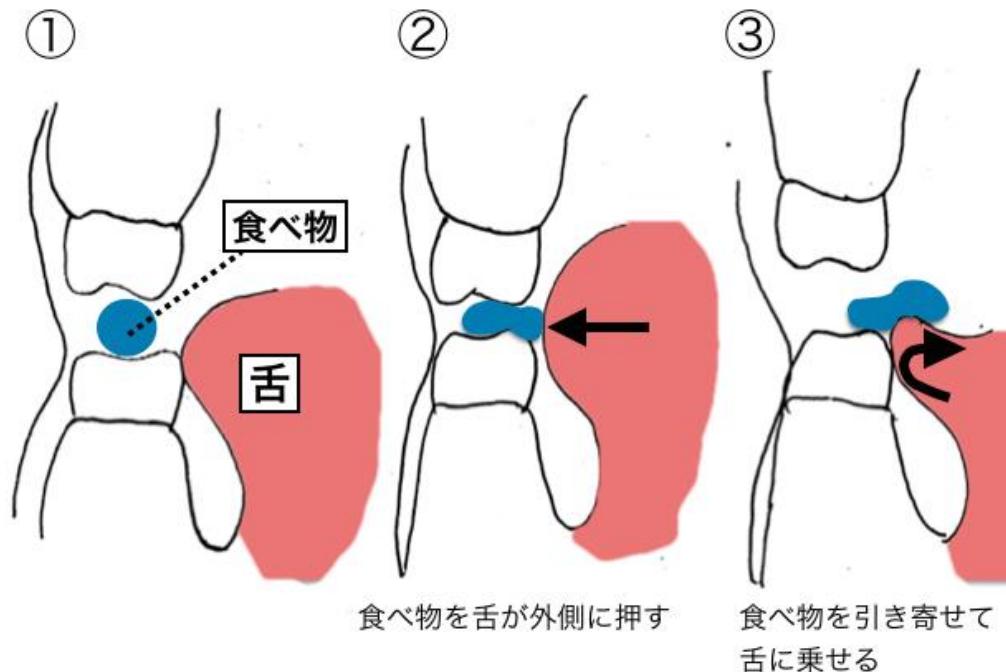
+
<側音化>
縁が盛り上がり
真ん中が凹む
舌

しかしなぜこんな力みが・・・？



この力みは
一体いつ頃か
ら？？

臼歯を使っての咀嚼



- 食べ物が落ちないように舌縁部で支える
↓
- 頬で押して舌の中央に寄せる
↓
- 唾液と混ぜながら再び舌縁部で臼歯に乗せる

正しい咀嚼が異常構音を予防する

舌凹みを
育てる



発達の問題

- ・指導期間が非常に長くなることを覚悟する
- ・指導内容が難しい
- ・応用する力が弱い
- ・本人の治したい気持ちを確認する

発達の偏りのある子への指導ポイント

ゆっくりな子

- ・指導する語を限定する
- ・小さな変化を大切にする
- ・家庭や学校の協力を得る

発達特性凸凹

- ・同じ課題でも違うことをやっていると思わせる
- ・架空のライバル作戦
- ・こだわりを活用して練習する

吃音の合併

- ・構音障害との合併は18.8%
- ・吃音症状の少ない時期に指導を行う
- ・指導音の選択に留意（吃音症状が出やすい音を語頭にしない）
- ・吃音症状が強く出ている時期は構音指導をいったん中断

こども言語相談室cotocoto



■オンライン相談
■オンライン研修
■ことばの教室
■園・クリニックでのことばの
教室 ■園だより・通信でのコラ
ム執筆

※フレキシブル勤務可
© cotocoto

ホームページ・インスタグラムはこちらから↓

cotocoto.jp



参考文献

- ・山下夕香里・武井良子・佐藤亜紀子・山田宏子,2021, 側音化構音と口蓋化構音の評価と指導法, 学苑社.
- ・浜野美幸.2020,子どもの口腔機能を育てる本,医歯薬出版株式会社.
- ・涌井豊・藤井和子.1996,側音化構音の指導研究,学苑社.
- ・大伴潔・林安紀子・橋本創一,2021, 言語・コミュニケーション発達の理解と支援, 学苑社.
- ・中川信子.1998,健診とことばの相談,ぶどう社.
- ・大塚祐一.伊崎基博,2018,言語聴覚診断-小児編,医学と看護社.
- ・大伴潔・安紀子・橋本壯一.2020,アセスメントにもとづく学齢期の言語発達支援,学苑社.